

令和 3年度予算見積調書

課室名: 管財課

担当名: ファシリティマネジメント担当

内線: 2582

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B29	県庁舎機能検討事業費			一般会計	総務費	総務管理費	財産管理費	県有財産管理事業費		
事業期間	令和 2年度～	根拠法令				宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール	9, 11	
	令和 4年度						分野施策	020516 危機管理・防災体制の強化	SDGsターゲット	9-1, 11-7, 11-c
1 事業概要				5 事業説明						
<p>目標使用年数経過後の県庁舎の再整備方針の決定に向け、令和2年度に実施した建築性能・劣化診断調査も踏まえ、将来的な県庁舎の機能について検討を行う。</p> <p>(1) 県庁舎機能検討事業 20,550千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>①県庁舎機能の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県庁の在り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・本庁機能の整理・検討 ・ICT等を活用したオフィス機能の検討 ・新たな働き方によるオフィス機能の検討 ・職員数等の将来推計 ○ 県庁舎の在り方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・県庁の在り方検討を踏まえた庁舎として必要な機能の検討 ・県民交流の拠点としての機能の検討 ○ 県庁舎の規模感の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・上記を踏まえて県庁舎に必要な規模感をシミュレーション ・改修と建替えの比較研究 ○ 整備手法の研究 <ul style="list-style-type: none"> ・PFIなど整備手法の研究 <p>②県民意見の把握</p> <p>(2) 事業計画 令和3年度～ 県庁舎の規模感の検討、整備シミュレーション</p> <p>(3) 事業効果 目標使用年数経過後の県庁舎の再整備方針の決定に向け、令和2年度に実施した建築性能・劣化診断調査も踏まえ、将来的な県庁舎の機能について検証を行う。</p>						
2 事業主体及び負担区分										
(1) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
<p>普通交付税(包括算定経費)</p> <p>(区分) 総務費(細目) 財産管理費(細節) 財産管理費</p> <p>(積算内容) 公有財産の管理、営繕</p>										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
(1) 人件費 9,500千円×4人=38,000千円										
(2) なし										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
決定額	20,550							20,550	△28,274	
前年額	48,824							48,824		